

カレンダーの良さを提案しつづけます

岐南カレンダーは昭和40年に岐南町で創業。当初からカレンダーを専門に事業を興され、昭和47年から現在地に移られました



訪問してみても、種類が沢山あることや、手作業でめくりながらの社名印刷、また出荷まで倉庫で保管するカレンダーの量にびっくりしました

2010.5.25訪問
続いて訪問させていただいたのは、現在青年部監事の高橋陽輔さんが勤務されている(有)岐南カレンダーさんです。

2010.5.25訪問



青年部員の
仕事所に行きついで
たて
第二回 岐南カレンダーさん

(文・加藤勇次)



「フォロント」について教えてください

うれしいと思っておりますか？

「うちのカレンダー、お客様に評判いいよ」と褒めてもらえたとき、おれにお米を30kgもいただいたり、びっくりしたこともある。

ツライことは？

ひいきにしてくれたお客様が商売を辞められるとき。

ほとんどのお客様が最後までカレンダーを作ってくれたので、一緒に頑張ってしんみりしてしまふ。

普段気を付けていることは？

お客様とのコミュニケーションですね。

相手のことを知れば知るほど、お客様の好みや商売の方向が分かって、こういった商品を薦めればよいか作戦が立てやすくなります。

聞いてなっトク ココだけの話

改めて「カレンダー」という商品の良さを教えてください

お店の広告をするのに、常に目に付くところに掛けて使ってもらえるものとすれば、カレンダーをおいて他にないでしょう。

お店の一番目立つ所で、店員さんも、そこを訪れるお客様もお店の顔として認識する。知らず知らずその存在感は際立ったものになっていくでしょう。

「カレンダー持ってきましたー」「おう、今年も世話になったな」と気軽にやりとりできそうな200円程度のものから、一部千円以上もするお得さま向けの立派なものまで、当社では要望に応じ提案させていただきます。

カレンダー専門の印刷屋さんというのは珍しいですよ

製本されたカレンダーに社名を後刷りできる印刷機は特殊で、また年中注文があつて動くような機械ではありません。専門業者だからこそ、計画的に一年中カレンダーを印刷できます。

東海三県の販売が主ですが、最近はDMやネット通販にも力を入れてお客様の幅が広がっています。